# 経済学概論 II

科目ナンバリング　EDE-102
選択必修　　2単位

廣田　　功

1. 授業の概要（ねらい）

市場経済の台頭を背景に17世紀頃から成立し始めた経済学は、人間の幸福の基礎を物質的な豊かさの実現に置き、富の生産と分配を効率的に行うことを目的としてきた。爾来、今日に至るまで、多くの経済学者がそれぞれの時代の経済の現実に対峙しながら、多様な経済の見方・捉え方を提唱してきた。この講義では、経済活動の歴史的変化と関連づけながら、これまでの経済学の歩みを辿り、多様で変化に富んだ経済学の考え方を修得することを目的とする。

2. 授業の到達目標

変化する経済社会の現実との関係の中で生み出されてきた多様な経済の見方・捉え方を知ることにより、今日の日本や世界の経済を理解するために必要な基礎的知識と視点を身につけることができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末の試験の成績（60%）及び平常点（40%/授業中の態度と宿題）による。

4. 教科書・参考文献

教科書
使用しない。毎回、講義プリントを配布する。
参考文献
松原隆一郎　経済思想入門　ちくま学芸文庫
ハイルブローナー　入門経済思想史　ちくま学芸文庫
小野塚知二　経済史　有斐閣
大田一廣他　経済思想史　社会認識の諸類型　名古屋大学出版会
宇沢弘文　経済学の考え方　岩波書店

5. 準備学修の内容

プリントをよく読んで講義に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

日々の経済ニュースに関心を持つこと。

7. 授業内容

【第1回】　春学期のふり返りと秋学期のガイダンス
【第2回】　歴史派経済学の成立ーリスト
【第3回】　歴史派済学の展開
【第4回】　20世紀における資本主義経済の変容
【第5回】　ソースタイン・ウェブレンと制度学派
【第6回】　シュンペーターの資本主義観
【第7回】　1930年代不況と経済学
【第8回】　ケインズ革命①
【第9回】　ケインズ革命②
【第10回】　ネオリベラリズムの出現とその時代背景
【第11回】　ネオリベラリズムの展開
【第12回】　現代の経済学ー新古典派総合
【第13回】　現代の経済学ー新制度学派
【第14回】　現代の経済学ー連帯主義
【第15回】　まとめと試験